

01a 仕事の段取り力養成講座 ～プロジェクト型業務の遂行能力を身につけるために～

主催者 (一社)長崎県情報産業協会

1. 研修要領

・募集定員	16名
・研修会場※	NISA研修室(住所:〒850-0032 長崎市興善町4番6号702号室)
・講師	麻生教育サービス(株)(AES)講師: 山口 新吾
・開催月日	2022年6月22日(水)・23日(木)・24日(金)
・実施時間・日数	9:30 ~ 17:30 (7時間/日)・3日間(21時間)
・受講料(税別)	78,800円
・教材料(税別)	5,000円

※研修会場は変更する場合がありますので最新情報はNISAホームページでご確認下さい。

2. 対象者

業務における段取り力を習得したい方(ITプロジェクトを問いません)

3. カリキュラムの概要

本コースは、演習題材をITプロジェクトではなく、社内イベント遂行プロジェクトとしています。そのため、ITエンジニアだけでなく、営業担当者やスタッフ業務従事者の方なども受講頂けます。

プロジェクトマネジメントの国際標準知識体系PMBOKをベースに、プロジェクト型業務での段取りの流れと考慮すべき点をケーススタディを通して習得します。

1.ビジネス環境を理解する、2.仕事をうまく進めるために必要なこと、3.PMBOK概要、4.仕事のPDCAサイクルと心構え、5.業務の立ち上げ、6.業務計画(リスク識別と対策立案、作業の洗い出し、体制と役割分担、期間・コスト見積、スケジュール作成)、7.業務の実行・コントロール、8.業務の終結

4. カリキュラムの詳細

3日間(21時間)

	科目	時間	科目の内容
6 月 22 日	1.ビジネス環境を理解する	1.5hr	<ul style="list-style-type: none"> ●求められる社会人基礎力 ●段取りとは? ●仕事はプロジェクトで進める ●プロジェクト業務の特徴
	2.仕事をうまく進めるためには	1.0hr	<ul style="list-style-type: none"> ●仕事をうまく進めるために必要なこと ●身近にアトスキルの事例は? ●当事者意識の重要性
	3.PMBOK概要	1.0hr	<ul style="list-style-type: none"> ●PMBOKとは ●プロセス群と知識エリアの対応 ●各プロセスの構成
	4.仕事のPDCAサイクルと心構え	1.5hr	<ul style="list-style-type: none"> ●プロジェクト・ステークホルダーズ ●プロジェクトリーダーが持つべき能力は? ●段取り上手の仕事の進め方 ●プロジェクトマネジメントの全体イメージ ●「段取り上手」の4つの視点
	5.業務の立ち上げ	1.0hr	<ul style="list-style-type: none"> ●問題、課題とは? ●仕事の目的を明確にする ●説得力のあるビジョンは人を動かす ●スコープを明確にする
	【演習1-1】 プロジェクト目標の設定	1.0hr	◆演習問題説明/演習/発表

	科目	時間	科目の内容
6月23日	【演習1-2】 プロジェクト目標の設定	1.0hr	◆演習(つづき)／発表
	6.業務計画	2.5hr	●業務計画の全体像 ●Step1 ゴール設定に基づいた作業の洗い出し ●Step2 作業の優先順位、前後関係整理 ●Step3 プロジェクト体制の決定と役割分担 ●Step4 所要期間・コスト見積もり ●Step5 スケジュール作成 ●Step6 リスクの洗い出しと対策立案
	【演習2】 リスクの洗い出し	2.0hr	◆演習問題説明／演習／発表
	【演習3】作業の洗い出しとスケジュール作成	1.5hr	◆演習問題説明／演習／発表
6月24日	【演習3】作業の洗い出しとスケジュール作成	0.5hr	◆演習(つづき)／発表
	6.業務計画 (続き)	0.5hr	●Step7 実行に向けた計画のまとめと共有化
	7.業務の実行・コントロール	2.0hr	●PJ管理の鉄則 ●進捗遅れの対策 ●朝会のススメ ●見える化のススメ ●利害対立が生じたときは
	【演習4】日々の進捗管理方法の検討	2.0hr	◆演習問題説明／演習／発表
	8.業務の終結	0.5hr	●プロジェクト完了報告 ●ふりかえりのススメ
	【演習5】ふりかえり	1.0hr	◆演習問題説明／演習／発表
	9.まとめ、総括	0.5hr	●まとめ
	計	21.0hr	

※コース改善のため、予告なくカリキュラム及び教材を一部変更することがあります。

5. 使用教材

オリジナルテキスト

6. 到達目標

- ・自身のビジネスの特徴と問題点を明らかにする。
- ・プロジェクト型業務で考慮すべき視点(スコープ、タイム、コスト、品質、要員、協力会社、コミュニケーション、ステークホルダ、リスク)を理解する。
- ・プロジェクト型業務の流れである、立ち上げ、計画、実行・コントロール、終結の各段階において、どのようなことを段取り(計画)し、作業を進めていかなければならないのかを理解する。

7. 講座レベル

ITSSレベル:2~3